

## 三石地区協議会委員の紹介 (14名)



令和2年10月、新たな任期の委員が委嘱されました。

三石地区に関する問題や課題等、地域の方々のご意見をお伺いしながら、課題解決に向け取り組んでいきたいと考えています。

任期は、令和2年10月15日から令和4年10月14日までとなります。

藤江 龍弘 (三石連合自治会推薦)

橋本 勝司 (観光協会推薦)

下屋 敷信彦 (三石連合自治会推薦)

山崎 剛 (スポーツ協会推薦)

中津川 博 (三石連合自治会推薦)

本山 タイ (文化団体協議会推薦)

酒井 薫 (みついし農協推薦)

幌村 司 (識見を有する者)

池田 和敏 (ひだか漁協推薦)

藤森 隆伸 (識見を有する者)

(新) 太田 智宏 (商工会推薦)

(新) 富田 浩幸 (公募に応じた者)

土田 満 (社会福祉協議会推薦)

(新) 森 恵祐 (公募に応じた者)

三石地区の`身近な問題`から`町づくりに関すること`など  
みなさんの`<ご意見>`をお待ちしています。

下記に記載の事務局まで  
お気軽にお問合せください。

## 第1回三石地区協議会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、感染拡大防止の観点から令和3年2月に書面による会議を開催しました。開催内容については次のとおりです。

### 【報告】新ひだか町過疎地域自立促進市町村計画の変更について (光ブロードバンド網整備)

町では、光ブロードバンド網整備における町内の地域格差を解消するため、未整備地区への光ケーブル敷設を民間事業者をお願いしてきましたが、一定以上の加入者数確保などの理由により、なかなか進まない状況にありました。町独自で整備するには、未整備地区の面積が広く、大きな財政負担が見込まれることから、コストをどのように負担していくか、大きな課題となっていました。そのような中、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、在宅勤務や在宅学習などの生活様式の変化に対応するため、条件不利地域への支援として、国の第二次補正予算において光ブロードバンド網整備予算が確保され、整備運営を民設民営とすることにより、町の負担も必要最低限とすることが可能となったことから、当該事業を実施することとなりました。

この事業を実施するにあたり、財源として過疎債を活用するため「新ひだか町過疎地域自立促進市町村計画」に当事業を追加掲載するもので、令和2年7月に開催された「令和2年第4回新ひだか町議会臨時会」において議決され、令和2年度から令和3年度の事業期間で、すでに事業着手しています。